

報道関係者各位

プレスリリース

2013年2月27日

株式会社大川印刷

**東日本大震災の津波で倒壊した寺の柱を使用したエレキギターが完成、  
大川印刷が3月3日(日)「東北復興ソーシャルビジネスプロジェクトメッセ」で初公開**

株式会社大川印刷(横浜市戸塚区)代表取締役 大川哲郎は、特定非営利活動法人メディアージ(宮城県石巻市)代表 大矢中子氏、つなげるつたえるプロジェクトの木村ゆかり氏、そして椎野正兵衛商店(東京都世田谷区)代表取締役 椎野秀聰氏と協力し、東日本大震災の津波で倒壊した徳性寺(宮城県本吉郡南三陸町)の柱を使用したエレキギターを製作しました。



2011年3月11日に発生した東日本大震災の津波により倒壊した徳性寺は、現住職で29代になる寺で、柱には約400年前の杉が使用されていました。大川は宮城県沿岸部で被災地支援の活動をしている大矢氏から柱の活用について相談を受け、ギター製作を提案。2011年9月よりプロジェクトが始動しました。材は大矢氏を始め被災地で活動する多くの方々の協力を得て横浜へ到着、その後ギター製作会社の経営経験もある椎野氏の協力で寺田楽器蟹江工場(愛知県名古屋市)にて2013年2月、エレキギター4本が完成しました。

この「徳性寺ギタープロジェクト」は、音楽を通じて東日本大震災の記憶を伝えたいとの思いから始まりました。ボディ一部分に徳性寺の柱材が使用され、ヘッド(糸巻き部分)には「徳性寺」の文字が入っており、また付属のヘッドカバーには椎野正兵衛商店特製の横浜シルクを使用しています。

来る3月3日(日)福島県で行われる「東北復興ソーシャルビジネスプロジェクトメッセ」でその内のギター2本を初公開いたします。今後の展開として4本のギターは、徳性寺への寄贈及び南三陸地元での活用、著名なギタリストへの寄贈、南三陸と横浜をつなぐギターとして横浜での活用、オークション出品、を予定しています。

⇒東北復興ソーシャルビジネスプロジェクトメッセ

(<http://socialbusiness-net.com/sbmesse/messe.html>)

---

〈本件に関するお問い合わせ先〉株式会社大川印刷営業部 佐々木・原・梶原

e-mail: [mail@ohkawa-inc.co.jp](mailto:mail@ohkawa-inc.co.jp) TEL:045-441-2011

---